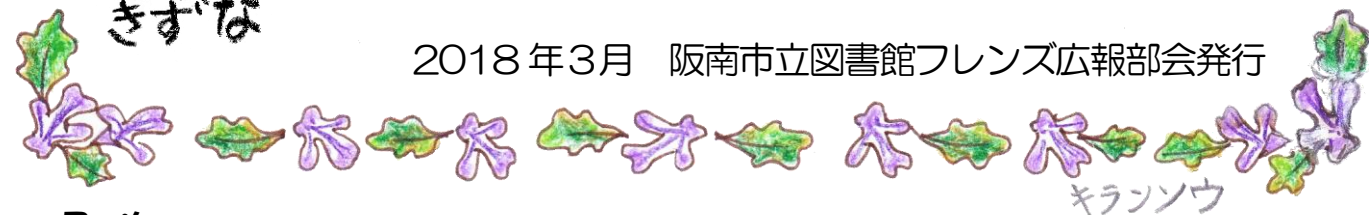


糸子
きずな

図書館ボランティアだより

第30号

2018年3月 阪南市立図書館フレンズ広報部会発行



キランソウ

目次

自由*空間	むくろじ 「無患子」「絵の愛好家としての私の経歴(2)」	… P2
ご存知ですか	「膝の痛みよさようなら」	… P2
私のおすすめ	『昭和十年の女の子 大阪のまちで』『日本の童謡・唱歌をいつくしむ』 『ねぼすけスーザのおかいもの』	… P3
お知らせ		… P4

図書館フレンズ(ボランティアの皆様)と共に歩いて

私はこの三月末で定年を迎えます。二十歳で就職した時には、幼稚園の教諭でした。十年間幼稚園で子ども達と過ごした後、阪南立図書館(その頃はまた阪南町でした)ができるにあたり配置転換を希望し、司書資格を取り、図書館へ配属されました。当時幼稚園ではパソコンは使わなかったのですが、まずパソコンを操作できるようになるまでひと苦労でした。

今までと全く違う職種の仕事で、慣れるまではとても大変でした。でも、何でも無駄にはならないもので、今でも土曜日のおはなし会や、赤ちゃん向けの“おひざにだっこのおはなしかい”では幼稚園での経験が役に立って、絵本や手遊びなどを楽しんでいます。

私がボランティアと関わるようになったのは平成十六年度にさかのぼり、もう十四年になります。最初は途方に暮れました。前年度始まったばかりの図書館ボランティアはまだ人数も少なく、もっと皆様に来ていただくためにはどうしたらいいのだろうかと悩んで出した答えが、とにかく明るく声で挨拶しよう。とにかく話しかけて、最後には心から「ありがたう!!」を言わせた。「気持ちがいへ帰っていただこう」といふことだ。

毎日毎日、明るく声をかけ続けました。するとどうでしょう。年々ボランティアしてくださる図書館フレンズさんが増えて来たではありませんか。年間延べ参加者が千人を越えたのが担当して三年目。一千人を越えたのが六年目。二千五百人位でしばらく落ち着きましたが、最近はまだ増えて三千人も間近です。阪南市にはこんなにたくさん無償のボランティアをしてくださる方がいらっしやいます。本当にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。

大阪府内の図書館で、一番ボランティアさんが頑張ってくださいっている阪南市。こんな私ですが皆さまに支えられて何とか定年まで四十年勤めることができました。今までお世話になったすべての方に、この場をお借りしお礼申し上げます。ありがとうございます。今後は市の再任用職員として働く予定です。これからもどうぞよろしくお願いたします。



廣瀬 まゆみ

阪南市立図書館司書

教師になって、絵を教える立場になった。

「やっぱり、子どもたちに手本を見せなくては」と、不埒(ふらち)な考えをおこし、教室の様子を描いてみた。が、出来た絵を見て、がっかりした。何と下手な絵だろう。子どもたちに見本を示すところではない。

私は、自分のことには目を閉じて、ひたすら、子どもたちに描かせた。課題は、たくさんあった。一言で言えば、「写実的に」

ということだった。空想的な絵は、あまり描かなかった。

「橋本先生の授業は、算数と図工しか覚えていない」と、子どもたちの同窓会できかされた。あの頃は、とにかく、放課後、子どもたちを残して描かせた。時間はあった。図工の時間だけでは、作品は仕上がらなかった。当時は、今よりも世の中はずっと安全だった。今は、安全上、そんなことはできなくなってしまったが。

しかし、残念なことに、言うよりも、当然と言えば当然のことだが、私自身の絵は、あまり進歩しなかった。私は、職業画家は、何も見ないで、すらすらと、どんなものでも描けるのだと思っていた。私には、残念ながらそのような、才能はないのだと思っていた。要するに『下手の横好きなのだ』と思っていた。(続く)

く子どもが患わない、病気をしないという意味だそうだ。夏には淡い緑色の花が咲き実をつけ、秋口には実が緑色から黄色に熟し、中に黒い種子が入っている。お釈迦様がこの黒い種子を一〇八個つないで数珠をお作りになり、薬師如来様、大日如来様や十大弟子に配ったと伝えられる。身近なところは羽



泉南市の男里川沿いに男(おの)神社がある。境内の樹々が生い茂り昼間でも薄暗い。拝殿の前に無患子の木がある。幹周り二・二m、高さ二〇mあるだろうか。無患子では府下最大のこと。ムクロジ科の落葉高木で縁起がよいことから、神社・寺に植えられるそうだが、この近辺では珍しい。読んで字の如

く子どもが患わない、病気をしないという意味だそうだ。夏には淡い緑色の花が咲き実をつけ、秋口には実が緑色から黄色に熟し、中に黒い種子が入っている。お釈迦様がこの黒い種子を一〇八個つないで数珠をお作りになり、薬師如来様、大日如来様や十大弟子に配ったと伝えられる。身近なところは羽

根つきの玉や漢方薬に使われている。実の皮にはサポニンが含まれ、戦時中の物資不足時には石鹸の代用として使われていた。十一月から十二月の上旬に一度訪れ、実を拾って観察してみたいかがでしょうか。新しい発見があるかも知れません。



橋本 一郎

寺田 雄揮

《ご存知ですか》

膝の痛みよさようなら

2012年頃右の膝に違和感がありそのまま放置していたら、立っていても座っていても痛みがあり、歩くこともつらいと感じてくるようになってきたので、整形外科の診察を受けました。変形性膝関節症と診断されてヒアルロン酸注入の治療が始まりましたが、私の痛みにはその治療方法は効果が無く痛みの改善にはつながりませんでした。弱ったなあと思っていたのですが、ちょうどその時テレビの健康を扱う放送で膝関節の痛みの解消

の番組があり、その中で紹介された方法を実践してみましたら、私にはそれが合っていたのでしょうか効果抜群でした。おかげで今は普通に生活しウォーキングも全く問題なくできております。

その方法は、テニスボール(軟式用)を準備し膝に挟み込んで膝を曲げます。1回10秒間くらいを暇を見つけては行いました。私の場合はすぐに効果が出て痛みはほとんど無くなり正座もできるようになり歩きも快調です。今も痛みは無いが定期的に伸ばしております。

Y・O

小学四年生の女の子モモちゃ
んは、ひいおばあさんのスミ子
さんが十歳の頃のアルバムを見
せてもらいます。ひな壇の前で
着物でおすまし、朝顔の水やり、
など写真はどれも白黒ですが、
当時の大阪のまちは色であふれ
ていたのです。

魅力的なおもちの広告や生
活の様子がうかがえるお正月商
品のカタログ、デパートの食堂
のお子さまランチや、今とさほ
そ違います。

と変わらない地下鉄心斎橋駅の
エスカレーター。お店のウイン
ドウの洋服にはモモちゃんもう
っとりです。スミ子さんが楽し
みだった映画やお菓子。モモち
ゃんの知っている今でも見かけ
るお菓子もあります。また、連
れて行ってもらった天王寺動物
園の入場券や案内図、少女雑誌
の表紙も楽しめます。なんだか
うきうきとした気分が伝わってき
そうです。

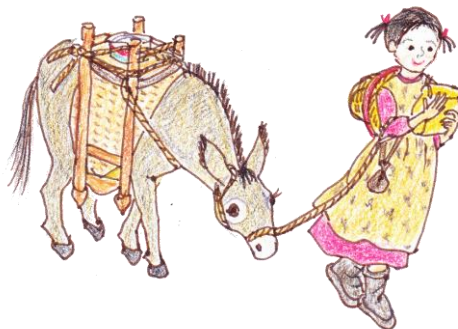
あらゆるふしぎを小学生向け
にお届けする月刊絵本雑誌とし
て刊行されている『たくさん
のふしぎ』ですが、子どもの本と
あなどるなかれ。一冊の編集に
三年かけているだけあって、内
容は深く大人の方が楽しめる月
も少なくありません。本書も小
学校中学年からとされています
が、懐かしさがわかる方ほど誰
かと気分を分かち合いたくなる
ことでしょう。 森下 喜代子

私のふしぎ

言葉の幸(さき)わう国日本
で、古代から使われてきた大和
言葉。この本は、大和言葉の中
でもひととき美しい響きの言葉
を選びすべしと紹介していま
す。日常使えるものや、ここぞ
という時に使いたい言葉、また
耳馴染みのない言葉まで、様々
な言い回しを使い分けて、思っ
たことをより正確に伝える例文
がわかりやすく書かれていま
す。会話に取り入れるのは難し
くなります。こんな言葉がさらり

と口をついて出てくる人になり
たい。

泉鳥取高校学校司書
福井 貴子



『ねぼすけスーザのおかいものより』

《児童書》 『ねぼすけスーザのおかいもの』 広野多珂子 / 著 福音館書店 [E]

「まいあさねぼすけのスーザは、ちょっと
やそっとではめをさませません。」毎回この書
き出しで始まる『ねぼすけスーザ』のシリ
ーズは全部で7冊。その中で私が一番好きなの
がこの本です。スペインの農村でつましく
親子同然に暮らすスーザとマリアおばさん。
大好きなマリアおばさんのお誕生日の日、ね
ぼすけスーザは早起きをして、ロバのサンチ
ェスをおともに町のお店にプレゼントを買い

にいきます。アンヘルさんのところで働いてた
めたお金を持って……。ところが店の人にお
金が足りないと言われてしまいます。さあ、ス
ーザはどうしたでしょう？ この本を大人に
読んでもらった小学三年生の男の子が「ええ話
やなあ」と言っていましたよ。子育て中の大人
にもオススメ。子ども達の全てが健やかに成長
し幸福でありますようにという作者の願いが
つまった絵本です。 今田 由美

図書館フレンズ募集

老後・退職後に図書館でボランティアをしていただける方、もう子どもの手も離れて、時間があるから何かしたいという方、図書館フレンズとして活動してみませんか？はじめての方も大歓迎。誰でもできる簡単な作業から、才能を生かせる作業までいろいろな部会があります。

今回募集する図書館フレンズの作業部会は、返却本を本棚・書庫に戻す作業、本の修理・清拭・装備、児童コーナーのコルクボードへの装飾作成、広報関連、生け花緑化整備等です。詳しい作業内容や時間は、「図書館フレンズ募集」のチラシ裏面をご覧ください。

下記の説明会後に、入会するかどうか決めていただけますので、興味のある方は、説明会にお越しください。

説明会日時：平成30年 3月26日(月) 午前10時～11時

場 所：サラダホール2階・視聴覚室

申込期間：3月1日(木)～3月25日(日) 開館時間中 (電話申込可)

- *無償のボランティアです。交通費等の支給はありません。
- *ボランティア保険はこちらで加入します。
- *この説明会は、新規の方(阪南市に在住・在勤・在学の方)が対象です。
- *図書館フレンズには、この募集期間以外にも随時加入できます。思い立った時にお声をかけてください。個別にご説明いたします。

お問い合わせは
阪南市立図書館
電話 072-471-9000
図書館フレンズ事務局まで

“つながり”スタッフとして、月に1～2回ボランティアしませんか？

リサイクルブック “つながり” ボランティア募集！

リサイクルブック“つながり”とは、本のリサイクル運営委員会が運営し、阪南市立図書館の除籍本(廃棄図書)や一般からの寄贈本を無償で譲り受け、低価格で販売し、その収益で公共施設に寄贈(書籍等を購入し)するなどの形で社会還元する活動をしています。

オープン以来約半年、たくさんの皆様にご利用いただいておりますが、運営するためには、ボランティアスタッフが不可欠です。開店日は主に毎週土曜日の朝10時～正午、午後1時～3時です。前後15分程度の準備と片づけを含めて1回の活動時間は2時間半程度です。(サラダホールで大きなイベントがある日は臨時に開店します。)興味のある方は、ぜひ説明会にお越しください。

説明会日時：平成30年 3月26日(月) 午前11時15分～正午

場 所：リサイクルブック “つながり”

申込期間：3月1日(木)～3月25日(日) 開館時間中 (電話申込可)

- *無償のボランティアです。交通費等の支給はありません。
- *ボランティア保険はこちらで加入します。

申込み受付：本のリサイクル運営委員会
事務局(図書館内)
電話 072-471-9000 担当：廣瀬・太田